

AJU愛実

第48号 会報

編集: 特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

定価:一部100円

感謝&エール～笑顔の連鎖へ～／戸田 真二	・ ・ P 1
事務所	・ ・ ・ ・ ・ P 2
大地の家	・ ・ ・ ・ ・ P 3
紙風船	・ ・ ・ ・ ・ P 4
「希望の星も楽じゃない？」／島 しづこ	・ ・ ・ P 5
寄付者名簿	・ ・ ・ ・ ・ P 6



みんなで散歩
大地の家

紙風船
新作人形と共に



感謝 & エール ～笑顔の連鎖へ～

理事長 戸田真二

コロナ禍での生活が一年を過ぎようとしています。感染予防にはできる限りの対応を行って来ました。身体に重い障がいのある方々にとっては、未知のウイルスに対して生命の不安が大きくありました。ひとたび陽性者が出ると、濃厚接触は免れることができません。クラスターの可能性が大となります。施設内に感染を持ち込まない！広げない！メンバーも職員も普段の生活から感染の予防を徹底していくことが求められ、とてもストレスの大きい一年であったと思います。そして色々なことがありました。コロナ禍の影響でデイサービスに通うことが出来なくなったメンバーもいました。外出活動やイベントはすべて中止。それでも愛実の会では、なんとか笑顔で無事にこの一年を乗り切ることができました。関係者そして支えて下さったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

コロナ禍で誰かを励ましたい！ 荒川河川敷から“電車にエール”



早朝の荒川河川敷で、通勤列車に「今日もがんばろうぜ！」の横断幕を掲げ、旗を振り続ける人たちがいます。新型コロナウイルスに立ち向かうみんなへ向けたメッセージです。車窓からは数秒しか見えない風景が目に入ります。SNSには感謝のメッセージが寄せられ、「私も誰かのためにエールを送りたい」そんな声が広がっているようです。人は、応援されると奮い立ち、希望が湧いて来ます！ニュースで流れた映像に私も車窓から見てのごとく心が動かされます。旗を振る人たちに思わず感謝の気持ちが湧いて来ます。些細な出来事が多くの人々の心に共鳴し、感謝と共にその思いは形を変え連鎖していくと感じます。「笑顔は伝染する」これをミラー現象(ミラーニューロン)と言います。私たちはメンバーの笑顔を大切にし、その笑顔がどんどん広がっていくことを願っています。ここに新たな希望の光があると思うからです。メンバーからのエールの歌をみなさんに贈ります。

君からもらった エールありがとう
元気がでる 魔法だね
ぼくから 君へ エールをおくろう
元気がでる いっしょに歩こう
ぼくから みんなへ エールを広げよう
笑顔になる 君がいるから 君がいるから



作詞 人形劇団紙風船
作曲 名古屋音楽大学
音楽療法サークル



名古屋ワイズメンズクラブ クリスマス会



『何としてもやりましょう』今年はクリスマスも無理だろうと思っていましたが、名古屋ワイズメンズクラブの方々の全面協力により、12/12(土) リモートという新たなかたちで愛実のクリスマス会が実現しました。コロナ禍では施設への訪問制限があり、見学やお客さんを迎えることもできませんでした。名古屋ワイズの皆さんは、愛実の会の発足当初からずっと毎年クリスマスに来てくださり、楽しく、美味しいクリスマスを準備してくださいます。先の見えない不安、長く暗いトンネルがいつまで続くのか……。そこにひとつの灯が『一緒に楽しみましょう』 小さな灯は希望の光、まさにクリスマスの訪れでした。



リモート生コンサート

待ち望んだクリスマスに心から感謝、感謝でした。名古屋ワイズメンズクラブの皆さん本当にありがとうございました。



プレゼントには手作りの
ビーフシチュー&ケーキ



♪きよしこの夜 星はひかり ～ あしたのひかり かがやけり ほがらかに♪

人形劇団紙風船 第18回読売福祉文化賞「一般部門」受賞

この度、愛実の会の一部門である人形劇団紙風船は、読売福祉文化賞「一般部門」を全国の5団体と共に受賞いたしました。20数年間重ねてきた活動を、このような形で評価いただき、とてもうれしく思います。

今年度は、コロナ禍の影響で公演・外出活動が一切できていません。しかし、気を落とさず前を向いて行こうと、「新作人形劇を10年ぶりに制作すること」を目標に掲げました。今回、副賞として頂いた100万円を、人形制作やリモート公演等を行う準備に活用し、今後の活動に生かしていきます。

皆様に、人形劇をお届けする日が必ずくることを願い、これからも頑張っていきたいと思います。

読売福祉文化賞

だれもが笑顔で暮らせる社会をめざし、21世紀にふさわしい福祉事業に取り組んでいる個人や団体を奨励しようと、読売光と愛の事業団と読売新聞社が主催し、厚生労働省と日本福祉文化学会の後援を得て2003年に設けられたものです。





大地の家

11月-3月

いつもの活動に刺激を

今年度は外に出ることが難しい一年でした。

その分、室内活動では毎日を明るく楽しく過ごそうと、様々な趣向を凝らした活動を行いました。

3月のミュージックケアでは、布団の上で行うことにチャレンジしました。

もともと音楽が好きなメンバーが多くいますが、毎回同じ様な取り組みでは飽きてしまうかもしれません。

いつもと違う雰囲気の中で、新たな刺激を受けてほしいとの思いからの実践です。

実際に布団の上で取り組んでみると、布団に体を預けリラックスしているメンバーが何人もいました。

いつもの馴染みの楽曲も、姿勢が変わると共に取り組み方も変えたりしたので、メンバーも新たな取り組みにワクワクしている様子が伺えました。

まだまだ外に出かけていくことに難しさを感じる時が続くとは思いますが、しかし今回のメンバーの反応を目の当たりにして、様々な工夫を凝らしながら飽きの来ない取り組み、実践を続けていきたいと思いました。



3.11 避難訓練をしました

愛実の会がある港区木場町は地震発生時の津波浸水想定地域に指定されています。

愛実の会の建物は道路よりも130cm高いところに床面があります。しかし、大津波発生時には床上にまで水に浸かる可能性があります。

今回は隣接するマンションの集会室へ避難することを想定して、経路確認や位置確認などを行いました。

津波発生時には、こちらの集会室をお借りしても良いとご厚意をいただきました。

車いすのまま移動でき、少しでも高いところに場所をお借りできることは大変ありがたいです。

また、設置してある火災通報装置を用いて港消防署へ通報訓練も行いました。

ボタンを押すと…「施設名、住所、火事デス」と機械が自動的にアナウンスをします。その後港消防署の指令室とコンタクトを取っていました。初めてボタンを押すところを見たアシスタントやメンバーもいて、少し緊張感のある訓練となりました。

起きて欲しくない災害ですが、発災しても対応できるように意識をしっかりと持ちたいと再確認しました。



紙風船のページ

クラウドファンディング目標達成！

様々な活動が制限された2020年、紙風船では10年ぶりの新作を作成することになりました。そして、資金調達として初めてクラウドファンディングに挑戦しました。90日間という限られた日数の中で、どこまで紙風船の想いが伝わり目標金額70万円を達成することができるのか、本当に不安でした。しかし、多くの皆様からの温かいご支援により、期間内に目標を達成することができました。添えられた励ましのお言葉には、メンバー・アシスタント共に元気をいただきました。さらに、クラウドファンディングへの挑戦をきっかけに全国の人形劇団員の方とも少しずつ交流ができてきています。自由に行き来できる日がきた時には「ぜひ紙風船の人形劇を観てみたい」「共演しましょう」という声をかけていただき、うれしい限りです。

皆様の温かいご支援を胸に、これからも笑顔忘れずに頑張っています。

新作が完成した際には、お披露目会を開催する予定です。再び羽ばたくメンバーの姿を待っていてください！

ご支援ありがとうございました



着々と準備！ ～リモート公演に向けて～

紙風船の活動室は今、少しずつ「スタジオ化」してきています。対面での人形劇公演ができないなら配信という方法で人形劇を伝えていこう、ということになったのです。手法は様々ですが、その中で「Zoom」という機能を使う方向で必要な機材を少しずつ揃えています。私たちが活動室で行う人形劇を、機材を駆使して多くの方々に観ていただけるように、試行錯誤の毎日です。また、第一段階として、YouTubeへ小作品の投稿も随時行っています。

最近では、「やっぱりうっかりオオカミくん」という作品を練習しています。アシスタントの一人が書いた脚本でメンバーが人形操作とセリフを担当しています。

人形劇フェスティバル参加や会場へ出かけて公演を行うという本来のスタイルは、これからも大切にしていきます。自由に各地を訪れる事ができる日を心から願い、新しいチャレンジを続けていきます。



詳しくは

人形劇団紙風船



「希望の星も楽じゃない？」

島 しづ子

ちょうど、一年前に沖縄に来ました。みなさまと同じようにコロナ禍のために不自由な一年でした。このために、私は三つほど思いがけない資格や趣味を持つことになりました。コロナ感染予防のために沖縄県独自の非常事態宣言が三度にわたって出されました。教会に集まらず、自宅で礼拝していただくために、木曜日までに礼拝メッセージの完全原稿と週報を教会メンバーに送付しました。

①毎週のメッセージを完全原稿で仕上げるできるようになりました。

②講演や会議はZOOMで行えるようになりました。

③辺野古に通い、抗議船に乗りました。大浦湾や辺野古の美しさに絵を描くようになりました。

この一年は教会の公務として、辺野古でカヌーメンバーを観察し、抗議現場を観察し、写真を撮り、FB友だちへの発信に張り切りました。私のFBには美しい海の写真もアップしていますので、機会がありましたら覗いてください。

気楽に船の乗組員をしていましたが、先輩船長が教えてくれました。「多くは船長不足で必要に迫られて船長資格を取ったんです。」とのことで、カヌーに乗っている人の多くが船長資格も持っていました。何の技術もないままに海上行動に参加できたのは、私の幸運(?)だったのでしょう。船には二人体制で乗ることが決められていました。人手がない時は私も一人に数えられて船長助手をするようになりました。家の中でもつまずいてしまう私が船の上で何時間も持ちこたえているのも不思議です。

海上行動の参加者は、辺野古の浜のテント2に朝7時半に集合します。半年たったある日、私の立場に変化が起きました。参加者が少ない日でした。まとめ役をしている人がミーティングの終わりに言いました。「島さん、今日の打ち合わせの確認事項、無線番号を決めてください」と。初めてチームの仲間と認めてくれたのです。それからは船長の足りない日はまとめ役から「来れますか」というメールもあり、期待されていることに喜びながら、「喜んで伺います」と返事して参加してきました。

沖縄県の緊急事態による「不要不急の外出禁止協力要請」が出るたびに、海上行動も制約を受け、その都度方針が討議されていました。私は新人(?)ですから意見も控えめにし、観察してました。第三波の緊急事態宣言中のミーティングで、感染予防を巡って、行動の方針が喧々諤々と議論されました。その時に、「船長は二人体制、一人に何かあったら他の一人が対処できるように」ということが確認されました。「えっ！私は船長に何かあっても、船も動かさないじゃない！これではだめだ！資格取って操船できるようにしなくては。」と決心しました。私が資格を取るつもりだと知った仲間たちは「希望の星だね」と囁き立てました。「希望の星」言われて張り切りましたが、2月の半ばに二日間の学科とテスト、三日目に操船試験というスケジュールにはお腹が痛くなりそうでした。海に出ての操船、特に離岸と接岸には疲れ果てました。今は免許証が届くのを待っています。

先週、先輩船長一家からお祝いをもらいました。「船舶免許一発合格おめでとうございます」と書かれた紙には、海の動物たちが楽しそうに泳ぐシールが貼られていて愛が溢れています。沖縄で張り切り過ぎているんじゃないかとご心配の向きもあるでしょう。が、沖縄には「よんな、よんな」「ゆっくりゆっくり」という言葉があるそうです。以前より「よんな、よんな」の日々ですのでご安心を！皆様もお元氣でお過ごしください！

【NPO愛実の会寄付者名(敬称略・順不同)2020年11月1日～2021年2月28日】

★寄付金

出口 尚	尾島 夫規子	吉岡 満智子	前沢 まき代	橋本 直樹
西山 博子	小松 康宏	堤 肇	倉田 節子	矢口 由美子
足立 克己	藤原 信子	榊原 喜代子	野澤 久枝	伊藤 久子
榛葉 英子	難波 幸矢	松本 普	島田 恵子	細川 拓
野崎 典子	榎本 久美江	伊藤 まり子	本間 愛子	楽 有紀美
義井 裕子	島 しづ子	津田 加代子	牛田 ヒサ	宮崎 正和
加藤 久雄	加藤 由美子	渡部 千枝	杉山 清美	細田 和民
武井 陽一	柏木 實	森山 昭雄	黛 八郎	武田 初代
長谷川 耕司	藤澤 深根子	佐藤 全弘	近藤 洋	比企 敦子
間瀬 滝子	田中 綏子	梅村 亜恵	水戸 潔	楠本 啓子
五十嵐 靖	吉丸 あさ子	三浦 定代	井上 昌子	伊藤 秀章
成瀬 絵里子	下村 徹嗣	河内 常男	見木 靖美	伊藤 和子
戸田 真二	野村 裕子	森 宏士 起美恵	加藤 明宏 朱美	
佐藤 正幸 純子		中山 成一郎 久美子		
吉谷 尚之(複数回)		柴田 京子(複数回)	伊藤 あつ子(複数回)	

教団)豊田教会
 教団)鳴海教会
 教団)広路教会
 教団)御器所教会
 教団)大野教会
 教団)豊明新生教会
 教団)名古屋桜山教会
 教団)岡崎茨坪伝道所
 教団)各務原教会
 教団)中京教会

教団)東海教会
 教団)坂下教会
 教団)天白教会
 教団)豊山教会
 教団)田瀬教会
 教団)名古屋新生教会
 名古屋YWCA
 平塚YWCA
 西尾教会 婦人会
 南山幼稚園

浜松聖書集会
 京都みぎわキリスト教会
 埼玉新生教会 女性の会
 名古屋ワイズメンズクラブ
 日本福音ルーテル復活教会
 在日大韓基督教会小倉教会
 済美高等学校宗教部
 日本キリスト改革派 金沢教会
 教団)上大岡教会 女性の会
 捜真女学校

★紙風船夢づくり

牧野 雅樹
 秋山 公夫
 鈴木 好美
 堀池 育志
 後藤 宣彦
 伊藤 操
 教団)名古屋中村教会
 カラオケ ROOM

矢澤 綾子
 西村 渚
 宮原 祐子
 大坂 晴一
 坂野 千名美
 成瀬 絵里子
 教団)名古屋新生教会
 日本イエス・キリスト教団 名古屋教会

小川 弘樹
 一條 敬子
 水島 トミ子
 川口 いづみ
 山内 正美
 都築 典子
 教団)岡崎教会



★物品寄付

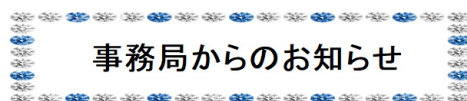
伊藤あつ子

上野 嶺

名古屋ワイズメンズクラブ

(有)山健商店

ご協力ありがとうございました



事務局からのお知らせ

寄付金について（目標300万円）

2020年度の寄付金総額は274万円となりました。（2月末現在）

内訳 愛実の会寄付金 256万円

*新型コロナウイルス感染症予防対策のため

*アシスタント支援体制強化のため

紙風船夢づくり 18万円

*新作の人形制作等のため

多くの方のご支援、ご協力に感謝申しあげます。引き続き、愛実の会をよろしくお願いいたします。

尚、当法人への寄付は寄付金控除の対象となります。寄付金受領証明書は1年分を大切に保管してください。

愛実の会の詳しい活動についてはホームページにて掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

□ 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL：052-693-7645 FAX：052-746-2639

□ 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

または

愛実の会	検索
------	----

【「認定NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形劇制作費、公演活動に関する費用）